


事業概要【大阪・関西万博を契機とした地域連携による外国人旅行者の新規開拓プロジェクト】

申請者	宮城県仙台市ほか 5 自治体※					初回採択回	令和 7 年度第 1 回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	106,391千円 (45,731千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<p>・ 1月から9月までの閑散期の底上げをはじめとして、年間を通した誘客による交流人口拡大のため、東北地域一体となった訪日外国人旅行者向けプロモーション体制の新規構築を行い、令和 7 年度の大阪・関西万博への参加を契機とし、依然として認知度の低い東北の持つ多様な観光資源を活用したプロモーションを実施することで、旅マエ・旅ナカで旅行目的地としての東北を面でPRし誘客を図るとともに、バーチャル技術を活用した観光情報発信の強化等により持続可能な観光地域づくりの推進を図る。</p>						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【ソフト事業経費】</p> <p>○インバウンド向け情報発信事業</p> <p>・ WEBサイト改修（多言語対応・掲載記事作成）、WEB広告（委託料）3,700千円</p> <p>○バーチャル技術を活用した観光素材制作事業</p> <p>・ 各市観光素材の撮影諸経費、多言語対応（委託料）4,300千円</p> <p>○外国人旅行者及び国内在住外国人向け観光物産プロモーション事業</p> <p>・ 企画管理調整費（委託料）36,300千円、（消耗品費）200千円</p> <p>・ トップセールスに係る経費（旅費）1,231千円</p>					 <p>バーチャル技術を活用した没入型動画の制作・活用 + 様々な興味関心に応じた東北の多彩な魅力の発信</p> <p>↓</p> <p>旅マエ・旅ナカの層に対する複合的アプローチによる認知拡大</p> <p>閑散期の底上げと年間を通した外国人旅行者の新規開拓</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>・ 事業実施主体である東北絆まつり実行委員会観光プロモーション部会に参画し、各市商工会議所は、物産品販売のプロデュースや地元の伝統文化に係る関係企業との調整等を、各市祭団体は、プロモーションに演者を派遣する等によるプロモーションの効果向上に取り組む。</p> <p>・ 地元金融機関とは、東北の交流人口拡大や活性化に向けて取り組むべき施策への提言、事業の効果算定などで協力する。</p>					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①東北六県観光消費額（+1,758億円） ②プロモーション接触者数（+70万人） ③インバウンド向けプロモーション実施回数（+6回） ④WEBサイトPV数（+23,649PV）

※青森県青森市、秋田県秋田市、岩手県盛岡市、山形県山形市、福島県福島市の広域連携事業